

## ワークショップ

### 「消化管粘膜傷害および修復のメカニズム」

司会 渡邊 俊雄（大阪公立大学大学院医学研究科先端予防医療学）

内山 和彦（京都府立医科大学消化器内科）

消化管は酸、アルカリ、腸内細菌、さらには薬剤やストレスといった様々な因子によって傷害を受ける。古くから胃潰瘍の病態を中心に粘膜傷害や修復のメカニズムに関する多くの研究がなされてきたが、いまだに全容が解明されている訳ではない。また、食道、小腸、大腸の粘膜傷害・修復のメカニズム解明はまだまだ途上であり、これらの研究は難治性疾患の病態解明や治療に必須といえる。本ワークショップでは消化管全般における粘膜傷害や修復のメカニズムに関する臨床的あるいは基礎的なアプローチを通して、将来的に臨床応用できる新知見を広く応募したい。